

(土石流被害の防止による評価)

(区分) 国補

事業名	復旧治山事業(火山)	事業箇所	南都留郡山中湖村平野地区	地区名	旭沢(あさひざわ)	事業主体	山梨県															
(1)事業概要				(3)事業の妥当性評価		妥当	妥当でない															
①課題・背景		<p>本箇所は、南都留郡山中湖村平野地区に位置し、二級河川山中湖の支流に位置しており、今年4月の爆弾低気圧時の豪雨により溪流内に堆積した土砂が、下流の平野地区へ流出した。溪流内にはまだ、不安定土砂が堆積しており、今後の豪雨時に土砂流出の恐れが高いため、土砂流出防止対策を早急に実施し、保全対象の保護を図る必要がある。</p>		①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か)		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>															
				・森林法第41条第1項に規定された「保安施設事業」に該当		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>															
②整備目標・効果				②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか)		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>															
□主要目標		<p>○土石流被害の防止 保全対象 人家42戸 国道900m 村道1400m 緊急度・危険度 13≥10 被害軽減額 666≥340百万円。</p>		③経済妥当性		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>															
				費用便益費 便益(B)／費用(C)= 13.01 > 1.0																		
				・便益(B)= 1613 百万円			・費用(C)= 124 百万円															
□副次目標		-		④事業実施・規模の妥当性		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>															
				・流域内は治山堰堤10基が設置されているが、渓床内には不安定土砂が堆積している。なお、砂防等同施設の計画はない。																		
□副次効果		-		⑤整備手法の有効性		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>															
				・保安林機能の回復を図る目的から治山事業による整備が有効																		
				⑥環境負荷への配慮		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>															
				・切土法面は緑化し、裸地を残さない																		
				・使用機械は排ガス対策型とし、環境負荷を軽減する																		
				⑦事業計画の熟度		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>															
				・地元山中湖村より強い要望あり																		
				<妥当性評価>																		
				・7項目すべて妥当であることから、妥当と判断する																		
(2)整備内容と整備量				(4)事業間優先度評価																		
①整備内容		嵩上工5基		・貢献度ランク: a 副次効果ランク: 2 優先度評価: I																		
②整備期間		平成25年度～平成28年度		(5)総合評価		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>															
③総事業費		約136百万円(国費74.8百万円(5.5/10) 県費61.2百万円(4.5/10))		・(3)及び(4)の結果から実施																		
④全体計画		<table border="1"> <tr> <td>平成25年度</td> <td>嵩上工2基</td> <td>40百万円</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>嵩上工1基</td> <td>32百万円</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>嵩上工1基</td> <td>32百万円</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>嵩上工1基</td> <td>32百万円</td> </tr> </table>		平成25年度	嵩上工2基	40百万円	平成26年度	嵩上工1基	32百万円	平成27年度	嵩上工1基	32百万円	平成28年度	嵩上工1基	32百万円	【事業位置図等】						
平成25年度	嵩上工2基	40百万円																				
平成26年度	嵩上工1基	32百万円																				
平成27年度	嵩上工1基	32百万円																				
平成28年度	嵩上工1基	32百万円																				
⑤既整備内容・期間・事業費		<table border="1"> <tr> <td>昭和36年</td> <td>床固工5基</td> <td>29百万円</td> </tr> <tr> <td>昭和50年</td> <td>谷止工2基</td> <td>12百万円</td> </tr> <tr> <td>昭和50年</td> <td>床固工1基</td> <td>6百万円</td> </tr> <tr> <td>昭和53年</td> <td>谷止工1基</td> <td>10百万円</td> </tr> <tr> <td>昭和53年</td> <td>床固工1基</td> <td>10百万円</td> </tr> </table>		昭和36年	床固工5基	29百万円	昭和50年	谷止工2基	12百万円	昭和50年	床固工1基	6百万円	昭和53年	谷止工1基	10百万円	昭和53年	床固工1基	10百万円	省 略			
昭和36年	床固工5基	29百万円																				
昭和50年	谷止工2基	12百万円																				
昭和50年	床固工1基	6百万円																				
昭和53年	谷止工1基	10百万円																				
昭和53年	床固工1基	10百万円																				